

# 「高田小学校の高田太鼓踊り伝承活動の取組」

## 1 学校名

南九州市立高田小学校

## 2 学年・人数

小学4年生から6年生（32人）

## 3 日時・場所

### （1）練習の日時・場所

9月中旬から下旬の間の5日間（平成26年度は17, 18, 22, 24, 25日）  
午後7時から8時まで 高田小学校運動場及び体育館

### （2）発表の日時・場所

平成26年度は9月28日（日） 高田小学校秋季大運動会

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

### （1）名称：高田太鼓踊り（たかだたいこおどり）

### （2）由来

文禄元（1592）年の島津の朝鮮出兵の際に、川辺から従軍した兵士たちの凱旋の踊りと伝えられている。

### （3）構成等（今年度）

今年度の運動会では、歌い手2人と鉦（カネウチ）4人、太鼓46人で踊った。

カネウチを中心に、そのまわりを太鼓が二重円で囲む。入退場は、太鼓が4列に並んでその間にカネウチが入り踊る。

## 5 保存会や地域との連携の具体

高田校区には、地域活性化や消防団、公民館などの団体が参加している高田村づくり委員会という組織があり、その中の一つ、高田太鼓踊り保存会が毎年指導を行っている。練習時には、毎回10人ほどの方が指導にあたっている。教職員も、一緒に指導を行ったり踊りに参加したりしており、地域と一体となった取組が行われている。

踊りに参加する児童は、小学校の運動会だけではなく、地域のイベントでも大人と一緒に披露しており、太鼓踊り保存のための重要な踊り手となっている。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

踊りで使用する道具は、保存会が準備している。子ども用の太鼓について

も保存会手作りのものを使用している。また、太鼓の「べ（ばち）」は、児童が育てた稲わらを利用しており、食農教育のよい学習機会にもなっている。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【体育館での練習】



【体育館での練習】



【運動場での練習】



【秋季大運動会での発表】

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

- ・ 運動会以外でも踊ったことがあったので、本番は緊張しなかった。これからも踊っていききたいし、下級生にも教えていきたい。
- ・ 祖父や祖母に教えてもらってこれまで練習をしてきた。足の動きを教えることが難しかったが、上級生として、下級生にも教えることができ楽しかった。
- ・ 太鼓踊りの披露は、地域住民と文化財をつなぐ大切なものである。運動会に限らず、披露の際には地域の多くの方が見に来てくださるので、そのつながりを実感できている。